

観 点	発行者	2・東京書籍	15・三省堂	17・教育出版	38・光村図書
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	○〔知識及び技能〕の内容について取り上げられている学習活動				
	＜第1学年＞ ・集めた情報の整理の仕方を身に付け、図表を入れたレポートを書く活動 ＜第2学年＞ ・必要な情報に着目し、囲みや矢印、表を使い整理する活動 ＜第3学年＞ ・インターネットなどで調べることを通して、情報の信頼性と客観性を吟味する活動	＜第1学年＞ ・必要な情報を整理して防災に関するリーフレットを作成する活動 ＜第2学年＞ ・情報を整理・活用して水問題に関する考えをまとめる活動 ＜第3学年＞ ・情報の扱い方について、考えたことを話し合う活動	＜第1学年＞ ・情報同士を比較して言葉と画像を組み合わせ広告を作る活動 ＜第2学年＞ ・情報の効果を考えたり小説を脚本に書き換えたりする活動 ＜第3学年＞ ・複数の社説から情報を捉え、意見や主張について考える活動	＜第1学年＞ ・本やウェブサイトから集めた情報を基に、自分の考えをまとめる活動 ＜第2学年＞ ・話の筋や論点を整理するために、情報と情報の関係を図で整理する活動 ＜第3学年＞ ・発信者の立場や意図を推測し、情報の信頼性を吟味する活動	
	○話すこと・聞くことについて取り上げられている学習活動				
	＜第1学年＞ ・話の中心を明確にし、スピーチの構成を考える活動 ＜第2学年＞ ・資料や機器を活用して分かりやすく説明したり、伝えたりする活動 ＜第3学年＞ ・相手や目的に応じて思いや考えが伝わるように表現を工夫する活動	＜第1学年＞ ・日常生活から話題を決め、構成を工夫して伝える活動 ＜第2学年＞ ・資料や機器を活用して自分の考えを分かりやすく伝える活動 ＜第3学年＞ ・聞き手や場の状況に応じて話の内容や話し方を工夫して伝える活動	＜第1学年＞ ・伝えたいことを明確にしてお気に入りの一品を紹介する活動 ＜第2学年＞ ・異なる立場や考えを取り上げて、ニュースや出来事を紹介する活動 ＜第3学年＞ ・話し手の表現を評価しながら聞き、自分のスピーチを改善する活動	＜第1学年＞ ・わかりやすく伝えるために、話の構成を工夫してスピーチする活動 ＜第2学年＞ ・話の構成を工夫し、資料や機器を使ってプレゼンテーションする活動 ＜第3学年＞ ・意見を聞いて適切さを判断し、スピーチをよりよくするための助言を考える活動	
	○書くことについて取り上げられている学習活動				
	＜第1学年＞ ・調べて分かった事実や考察について構成を考えてレポートを書く活動 ＜第2学年＞ ・多様な方法で集めた材料を整理し、読み手の立場に立って表現を工夫する活動 ＜第3学年＞ ・集めた材料を吟味し、目的や意図に応じて文章の種類を選択して書く活動	＜第1学年＞ ・集めた材料を整理し、伝えたい内容を明確にしてレポートを書く活動 ＜第2学年＞ ・読み手の立場に立って書いた礼状を推敲する活動 ＜第3学年＞ ・条件に応じて表現などを工夫し、説得力のある文章を書く活動	＜第1学年＞ ・目的や意図に応じて集めた材料を整理して案内文を書く活動 ＜第2学年＞ ・伝えたいことを明確にしながら新聞の投書を書く活動 ＜第3学年＞ ・論理の展開を考えて説得力のある批評文を書く活動	＜第1学年＞ ・情報を取捨選択し、まとめ方や順序を工夫して文章を書く活動 ＜第2学年＞ ・目的に応じて多様な方法で情報を集め、整理し、伝えたいことを紙面にまとめる活動 ＜第3学年＞ ・課題に沿って情報を読み取り、文章の構成や論理の展開を考えて小論文を書く活動	

	○読むことについて取り上げられている学習活動			
	＜第1学年＞ ・詩に描き出されている風景や、込められている思いを想像し、音読する活動 ＜第2学年＞ ・登場人物の言動の意味を考えて作品を読み深める活動 ＜第3学年＞ ・作品の展開や表現の仕方に着目し、批評する活動	＜第1学年＞ ・必要な情報に着目し、文章を要約し、内容を捉える活動 ＜第2学年＞ ・登場人物や相互関係を整理し、登場人物の設定の仕方を捉える活動 ＜第3学年＞ ・文章の構成や論理の展開の仕方を捉え、評価する活動	＜第1学年＞ ・作品の構成や展開、人物の関係を捉えて作品の特徴を説明する活動 ＜第2学年＞ ・作品の印象に残った表現とその効果について考えをまとめる活動 ＜第3学年＞ ・語りに着目しながら作品を読んで考えをまとめる活動	＜第1学年＞ ・登場人物の心情の変化をとらえ、図などを使って整理する活動 ＜第2学年＞ ・伏線と結末の関係を読み解き、登場人物の言動の意味を考える活動 ＜第3学年＞ ・登場人物の考え方や行動を批判的に読み、作品を批評する活動
	○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応について取り上げられている学習活動			
	・「てびき」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などの描写をもとに読み取ったり、文章の構成や表現の工夫について発表し合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動（第1学年）	・教材冒頭の「目標」や「学習の流れ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、複数の文章を読み比べ、構成や展開について考えたことを伝え合ったり、描写を基に、登場人物相互の関係や心情の変化を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動（第1学年）	・「学びナビ」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、作品の時間的な場面の展開に着目しながら読んで気付いたことを話し合ったり、論の構成や展開に着目して読みながら筆者の主張の背景を捉えたりするなど、考えを広げたり深めたりする活動（第1学年）	・「学びへの扉」において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、場面や描写を結び付けて内容を解釈したり、文章の構成や表現の効果についてグループで語り合ったりするなど、考えを広げたり深めたりする活動（第1学年）
内容の構成・排列、分量等	○系統的・発展的に学習できるような工夫			
	・話し手の意見や根拠に注意して聞き、自分の考えと比較する活動（第2学年）の後に、話の展開を予測しながら聞き、内容や表現の仕方を評価して自分の考えを広げたり深めたりする活動（第3学年）	・結論を導くために、相手の考えと比較しながら聞き、互いの立場や考えを尊重しながら話し合う活動（第2学年）の後に、合意形成に向けて、進行の仕方を工夫するなどして計画的に話し合う活動（第3学年）	・物語の構成や展開を意識して表現の効果を考えながら連作ショートショートを書く活動（第2学年）の後に、中学校での学習を振り返り、情報をまとめて読み手に自分の思いが伝わる作品集を作る活動（第3学年）	・対話を通して、国語を学ぶ意義を考えてコピーにまとめる活動（第2学年）の後に、3年間の国語の学びを振り返り、「これまで」と「これから」の学びについて冊子にまとめて発表会を行う活動（第3学年）
	○内容の分量			
	＜第1学年＞ ・306 ページ（11%減） ＜第2学年＞ ・310 ページ（10%減） ＜第3学年＞ ・322 ページ（9%減）	＜第1学年＞ ・366 ページ（3%増） ＜第2学年＞ ・366 ページ（3%増） ＜第3学年＞ ・366 ページ（7%増）	＜第1学年＞ ・357 ページ（1%増） ＜第2学年＞ ・373 ページ（2%増） ＜第3学年＞ ・357 ページ（1%増）	＜第1学年＞ ・344 ページ（1%増） ＜第2学年＞ ・344 ページ（2%増） ＜第3学年＞ ・340 ページ（5%増）

使用上の配慮等	○学習意欲を高める工夫			
	<ul style="list-style-type: none"> ・おすすめの本のポップを作り、その本の魅力を紹介し合う活動（第1学年） ・様々な種類・テーマの本を紹介した「読書案内」の掲載（全学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活の様々な体験を振り返って題材を決め、随筆を書く活動（第1学年） ・読書習慣の形成のため、読書に親しむ学習活動を扱う「読書活動」の掲載（全学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現に向けて、自分の課題を発見する活動（第1学年） ・生徒の学びを深める読書案内として「広がる本の世界」の掲載（全学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手の立場に立って、案内文を推敲する活動（第1学年） ・多様なテーマを扱った読書単元「いつも本はそばに」の掲載（全学年）
	○主体的に学習に取り組む工夫			
	<ul style="list-style-type: none"> ・既習事項を振り返らせたり、今後の学習の見通しをもたせたりする「領域別教材一覧」の掲載（全学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材の冒頭に「学習目標」を提示し、末尾には学習を振り返る機会の設定（全学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の重点や各単元における教材の冒頭に学習目標を示した「みちしるべ」や「学習活動の流れ」の掲載（全学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の流れや学習のポイントを明確に示した「学びのカギ」の掲載（全学年）
	○使用上の便宜			
	<ul style="list-style-type: none"> ・中学校3年間の学習を見通したり振り返ったりする「『言葉の力』一覧」の掲載（全学年） ・脚注欄などの小さな文字や色文字の振り仮名にはゴシック体を使用（全学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「つきたい力」を示し、身に付けた力の自覚と達成感を促す「領域別教材一覧」の掲載（全学年） ・色覚の特性を考慮し、誰にでも見やすく、学びやすい配色となるよう工夫（全学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の指導事項や言語活動を総覧できる一覧や自ら学習を振り返る観点を示した「言葉の地図」の掲載（全学年） ・明朝体やゴシック体を基本としながら、UDに対応した独自の書体を使用（全学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の学習を見渡す、「学習の見通しをもとう」の掲載（全学年） ・漢字の読み仮名などの小さな文字にUD書体を使用（全学年）
指導上の配慮等	○地域素材			
	<ul style="list-style-type: none"> ・「知里幸恵物語」「カムイ・ユーカーラ」など地域にゆかりのある書籍が読書案内で紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・「動物園でできること」において旭山動物園が教材として扱われるとともに、「アイヌ語のおもしろさ」が読書案内で紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・知里幸恵の生き方について考える題材「銀のしずく降る降る」が設定されるとともに、「塩狩峠」などが読書案内で紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・「カムイ・ユーカーラ」「塩狩峠」など地域にゆかりのある書籍が読書案内で紹介
	○ICTの活用			
	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の言語活動の手本により見通しをもったり、「言葉・漢字・古典の資料」などにより自学自習に活用したりできるように工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の言語活動の手本により見通しをもったり、漢字や文法のデジタルドリル、ワークシートなどにより自学自習に活用したりできるように工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・教材理解の補足資料や画像、動画等を活用できるように工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の言語活動の手本により見通しをもったり、端末の活用例が示されたりするほか、デジタルドリル、ワークシートなどにより自学自習に活用できるように工夫
	○小中連携への配慮			
	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年の初めの文学教材は、大きな活字で掲載するとともに、前半の教材は難しい内容を避け、小学校高学年の復習となるよう配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年では、基礎・基本を確実に習得する学習からスタートし、身に付けた力を繰り返し活用しながら学習を進めることができるよう配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年の前半には入門期教材として、なじみの深い金子みすゞの詩を巻頭に置くとともに、言葉で伝え合う意義を学ぶ構成にするなどの配慮 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年の第1単元に入る前に「言葉に出会うために」を設定し、小学校で学んだ基礎・基本を確認できるようにするとともに、前半の教材は文章量が抑えられているなどの配慮

本市生徒の学習の状況等	○単元で身に付けた言葉の力を日常の学習や生活場面で活用できる工夫			
	・単元の終末に、身に付けた力やその力をどのように生かすかを言語化して確認する「振り返り」や、巻末「未来への扉」に身に付けた言葉の力を使って考えを深める題材を設定するなどの工夫	・単元の終末に目標を振り返り、自分の言葉でまとめるよう促す「学びを振り返る」や、単元の学びを発展的に学ぶ活動を示す「学びを広げる」を設定するなどの工夫	・単元の終末に「振り返り」を設定するとともに、学んだことを他教科等で生かす例を示した「学びを生かす」を設定するなどの工夫	・単元の終末に、身に付けた力や活用の具体を言語化して確認する「振り返る」や具体的な活用場면을例示した「生かす」、巻末に、学んだことを応用し、問題の解決を通して力の定着を図る「国語の力試し」を設定するなどの工夫
	○目的に応じて、情報を収集・整理して、適切に表現する力を育成する工夫			
	・「情報と論理の学び」で情報の整理の仕方や情報の関係の表し方を学んでから、レポートや意見文、紹介文を書いたり、スピーチをしたりする活動を設定するなどの工夫	・「思考の方法」で、情報と情報との関係の捉え方を学んでから、随筆やレポートを書いたり、スピーチをしたりする活動を設定するなどの工夫	・「学びナビ」で、情報の整理の仕方を学んでから、レポートや意見文を書いたり、討論したりする活動を設定するなどの工夫	・「情報整理のレッスン」や「思考のレッスン」で、情報の整理や論理的な思考の仕方について学んでから、レポートを書いたり、スピーチをしたりする活動を設定するなどの工夫
その他	○叙述を根拠にして自分の考えを持ち、適切に表現する力の育成			
	・「てびき」において、指導事項に基づく読み深め方と考えを表現する学習過程を示すとともに、読みを深める手がかりとなる「言葉の力」を設定するなどの工夫	・「学びの道しるべ」において、指導事項に基づく読み深め方と考えを表現する学習過程を示すとともに、読みを深める手がかりとなる「思考の方法」を設定するなどの工夫	・教材文の前に、読む視点を示す「学びナビ」を設定するとともに、「みちしるべ」において、指導事項に基づく読み深め方と考えを表現する学習過程を示すなどの工夫	・「学びへの扉」において、指導事項に基づく読み深め方と考えを表現する学習過程を示すとともに、読みを深める手がかりとなる「学びのカギ」を設定するなどの工夫
その他				